

砺波市男女共同参画市民委員会会議要録

- 1 会議の名称 砺波市男女共同参画市民委員会
- 2 会議の日時 令和元年5月24日（金）午前9時30分～午前11時
- 3 会議の場所 砺波市役所 3階 特別会議室
- 4 出席者
 - ・委員 11人
（紫藤会長、朝日委員、上田委員、江田委員、金平委員、齋藤委員、境委員、澤田委員、林委員、藤澤委員、米道委員）
 - ・砺波市【事務局】 3人
（今井企画総務部長、坪田企画調整課長、島田広報協働係長）
- 5 議題
砺波市男女共同参画推進計画（第3次）に関する取組状況 について
- 6 公開の明示及びその理由 公開
- 7 審議の概要
 - （1） 開会
 - （2） あいさつ 【企画総務部長部長】
 - （3） 砺波市の男女共同参画に関する取組状況について【事務局】
 - ア 砺波市男女共同参画推進計画（第3次）の概要 **ダイジェスト版**
 - ・計画策定の趣旨、位置づけ、基本理念、基本目標等 について説明
 - イ 砺波市男女共同参画推進計画（第3次）の進捗状況 **資料1**
 - ・数値目標と現状 について説明
 - ウ パワハラレポート報告
 - （4） 意見交換 以下のとおり

委員名	質問・意見等要旨
会長	ただ今の報告について、ご自由にご発言願います。

委員名	質問・意見等要旨
委員	<p>学校サイドで、自ら男女共同参画の意識を醸成する活動や実績はあるのか？</p>
事務局	<p>保健体育、道徳授業等を通じて学校教育の中でやっているが、市が出向いて実施しているのは、専門性の高い講師を呼んで、実例を挙げて、男女間や地域間、生徒が人種を越えたハラスメント等 DV 等の話をさせていただき、DV について改めて考えていただくことを行っている。学校では、保健体育、道徳の授業等学校生活の中では、きちんとされている認識はある。</p>
委員	<p>計画の際には、教育委員会のメンバーは入っているのか？</p>
事務局	<p>庁内会議の場合には、必ず入っている。</p>
会長	<p>今は、各々家のカラーが違い、あたりまえとまっていることが違う。それを学校でいうのは難しい。男女共同参画連絡会においても、専門性の高い講師にきてもらい、コミュニケーションセミナーを通して、DV について考えてもらいたいと考えている。個人の考え方が多様化している。</p> <p>できればいい方向で、考え方で統一できないかと思う。違う考え方であっても、和やかになればいいと思う。</p>
委員	<p>推進計画の総合目標に沿って男女共同参画の実現に向け、色々な取組みをされている。</p> <p>数値目標も H27 と H30 とを比べても、年々数値が上がり、市は大変努力をされていることがわかる。さすがは住みよさランキングの上位だと思う。</p> <p>今は、多様な価値観がある。自分の地域のたまり場の話を知っていると、男性の参加が少なく、女性が男性を入れないようにしているとのこと。</p> <p>そこで、学校での若年層を対象とした DV 防止セミナーであるが、セミナーに限らず、「自分も、相手もどんな人でも大事にしましょう」は大切なこと。もっと広げていけばいい。教育の力は大きい。</p>

<p>委員</p>	<p>自分が、以前、男女共同参画推進員をしていたときに、連絡会で中学生を対象としたセミナーを始めた。</p> <p>まずは中学生を対象に、男女平等、対等であることを伝えるために始まったセミナー。今は、男女だけでなく家族との関わりも広めておられる。これからは、「DV防止セミナー」ということばも違和感がある。</p>
<p>会長</p>	<p>基本は、「コミュニケーションセミナー」である。DV防止ではあるが、束縛する方向にならない、対等な関係であるということ、Iメッセージを伝えるということで「コミュニケーションセミナー」ということばで伝えている。</p> <p>今は、自分と家族、地域との関わりや、三世代家族が減り、核家族が増えている。家族についてや自分のこの先（未来）について問いかけながら、考えることも伝えている。</p>
<p>委員</p>	<p>今まで何回かつどいを見たが、ターゲットとして、働く女性の意識向上と受け止めた。</p> <p>市とすれば、後生全体という話かと思うが、やはり働く女性の意識向上ではなく、働く男性の意識向上というイメージを植え付けたいのではないかと思うが、如何か。</p>
<p>会長</p>	<p>基本的には、女性だけでなく男性も変わらなければいけない。それで、ワークライフバランスがある。共に相手を思うこと。今の意識からいうと、共に助け合う共助の関係が一番のベストではないかと思う。</p> <p>今の子ども達は、自分でやることは普通にやっており、一番受け入れやすい。女性も、男性も変わらなければいけない。</p> <p>変わればもっと充実した生き方ができると思う。</p>
<p>委員</p>	<p>そういう意識は当然持っていると思う。いかにしてそういう考えを広めるか。</p>
<p>会長</p>	<p>ワークライフバランスやイクボス宣言などもあって、男性も意識を変えなければいけないし、女性ももっと発言して、言わなければわからない。他のものが見えなかったものも見えるようになる。</p> <p>つどいも、気づいてもらうことを考えながらやっている。</p>

<p>委員</p>	<p>昔は、男性は働き、女性は家庭を守る時代で亭主関白であった。今は、男女ともみんな働く。そうになると男性も協力しないとうまくいかなくなる。お互いに協力し合うことが今の社会に必要なことでないかと思う。</p> <p>今の若い人たちに、男女共同参画は浸透していると思う。</p> <p>高齢者の人たちは、昔からそういう風に育ってきたので今の男女共同参画社会は難しい。しかし、家にいるときはそんなことも言っておれない。介護の時になって感じるときまで時間がかかると思う。</p>
<p>委員</p>	<p>女性ボランティアが多いが男性は少ない。全然伸びない。</p> <p>若いときから男女間の協力があれば、年を取っても色々なことに協力をしてくれると思う。</p>
<p>委員</p>	<p>お互いの参加の仕方という意味で、若い人たちを考えてみたい。</p> <p>今年の4月から働き方改革で世の中は大きく変わった。大きな変わり方は、就業時間の変更や制約があり厳しくなった。</p> <p>残業の制約、罰則もある。企業は守らざるを得ない状況である。その中で、特に砺波地方、ハローワーク砺波管内は求人率が多く、2倍を超えており、引く手数多である。定年者は男、女と言っておれない。</p> <p>特に、土木現場では、昔考えられなかった現場監督や測量、重機運転は女性がされている。</p> <p>その中で一生懸命働かれており、社会を支えてくれているのだと感謝している。もうしばらくは続くと思う。</p> <p>子どもの数もどんどん少なくなり、人口が減っていくなか、お互いに分け合わないと社会は成立しない。その中で会社、家庭での協力、支えあいが必要になり、分け合わなければならない、支えあいの世の中になっていくと思う。</p> <p>そこで、三世代同居率の指標率があがっている。いろんな意味で、働き方改革の中で、指標があがっていく形は時代を背景にしたものだが、三世代同居率は、この先おそらくどんどん減っていく状況にあるのでないかと思う。</p> <p>家の造りや各世代の生活スタイルが違い、同居しにくいと感じている。それを指標に入れて何を判断するのか。</p>

<p>事務局</p>	<p>男女共同参画と三世代とはどうつながっているのかということだが、最近では「持続可能な社会づくり」ということばがある。仕事場では、もう男女の差がなくお互いに支えあっていく、家庭でも支えあっていくということで社会を継続していくことになる。</p> <p>三世代は、男、女ではなく世代間でお互いを支えるという考え方になり、男女の世代間共同ということでつながっていくことになっている。</p> <p>砺波市の三世代同居の推進としては、孫とのお出かけや住宅改修等の施策にかなり力を入れているが、やはり価値観やライフスタイルの変化で、三世代同居は段々減りしていることは間違いないが、あり方をもう一度見直ししていただいたり、同居はされなくても、近居でお互いを支えあっていくという意識付けになっていると思う。</p>
<p>委員</p>	<p>国勢調査の「同居」は、同じ屋根の下に住んでいることとしている。</p> <p>自分の家は、息子家族と100メートル離れているが家族として支えあっており、意識は十分にある。</p> <p>それが数値として指標に反映されていないのではないかといいたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>国勢調査であるため、中身も色々なパターンがあると思う。</p> <p>そのまま数字に反映していないかもしれないし、限られた期間でしか調査してくれないことはある。</p> <p>三世代同居は今後増えるとは思っていないが、砺波市はもともと多い地域。全国に比べて同居率が減少していく傾向をゆるやかにしていきたい。できるだけ良さを生かしながら、三世代でお互いに支えあう。</p> <p>今、三世代同居のハードルは高い。結婚して同居してくれるということは、わかりあえたということでないか。それこそ男女共同参画ではないかと、そういった意味で推進していきたい。</p>

<p>委員</p>	<p>40年ほど前、特養施設やなぜ園が砺波地域に最後にできたとき、砺波市は同居率が高いので特養は必要ない、家族が介護したらいいという考えであったと聞いてきた。</p> <p>しかし時代は変わってきて、同居率が高くなれば介護をしてくれるという期待もあったが、今は違ってきて望めなくなってきた。同居率で何を判断するのかということ、同居率の価値では何もないのでないか。</p> <p>今と昔で同居率の求めるものは違ってきたと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>三世代同居は、家族の絆ということを考えれば大変いいと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>三世代同居の良さは、女性がばりばり働くためには三世代同居は絶対必要。祖父母がいることにより、家事なども手伝ってもらえ、ゆったりとした気分で子どもにも接することができる。安心できる。女性が働くためにも効果はある。</p> <p>同居でなくても近居。祖父母の協力は絶対必要である。</p>
<p>委員</p>	<p>この数値は、国勢調査のみは如何か。この数値は世の中を反映していない。</p>
<p>会長</p>	<p>砺波市、南砺市、小矢部市も同居率はトップクラスであったと思うが、最近は下がってきていると思う。</p> <p>三世代同居は、アパートの人は帰って来れるが、家を建てるとなかなか帰って来れない。家に入ることは、家を売るか片付けないといけない。</p> <p>家を建てる経済効果にはいいが、空き家問題もある。</p> <p>子ども達もスポ少や学校への迎えがいる。同居すると、祖父母がいると安心でき、留守番などプラスの面もある。</p> <p>しかし、元気な時はいいが、介護になったときの話もある。老人ホームのニュースなども聞き、難しい。</p>

<p>委員</p>	<p>ダイジェスト版内の DV の被害経験調査アンケートについて、①「大声でどなる」②「何を言っても無視する」というのがある。「何度もあった」「1～2回あった」という数値がそこそこある。こんな被害状況もあるということだけかと思うが、その後の手当が気になる。</p> <p>放っておくと死につながる大事件に結びつく可能性もある。</p> <p>家庭の状況もあるが、調査をするとなると、数値だけを求めるといふ部分と、手当をするといふことは難しいと思うが、現実はこちらといふことと、何か具体的な手を打てるものなのかといふことで気になった。</p>
<p>会長</p>	<p>DV とは何かと認識してもらおうという項目であり、経済的、精神的、性的等色々あるが、そういうのが DV になるのかと・・・。</p> <p>昨年、連絡会でハラスメントレポートを作った。</p> <p>ハラスメントは、名前は聞いたことはあっても感じ方などそれぞれ違う。推進員が講師や色々な話を聴いたりして、相談窓口の紹介や地区において活動している。</p>
<p>委員</p>	<p>「高齢者学級参加延べ人数」の数値目標について、昨年、教育委員会から高齢者の行事等が錯綜しているといふことで、高齢者学級もそろそろという意見があった。</p> <p>平成32年度の目標年度には既に無くなっている。高齢者学級でなくて何か他の表値をやればいいのか。</p> <p>若い人たちは、お互いに協力してやっているが、男女共同参画など、そういったことが理解できるかどうかは高齢者だと思う。学級等を通じて、三世帯同居にしても色々話ができればと思う。市の方から予算もきているが、学級をやらなければ予算は来ないのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>高齢学級の予算についてはわからない。意見として受け止め、考え方を整理し検討していきたい。</p>

<p>委員</p>	<p>今の息子たちは、率先して普通に自分の子どものおむつを替え、当たり前だといっている。</p> <p>時代は変わってきている。息子達も自然にそういう風になっている。自分が結婚したときとかなり違うと気づかされた。</p> <p>学校で、男女平等について常にセミナー等を開けば小さいときからの意識付けになる。教育は大事だ。</p> <p>お母さんがしなければならぬ、お父さんがしなければならぬということではなく、自然に協力していく意識になると思う。そういうことを働きかけることは大事だと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>本日の委員会において、まだ言い足りなかったご意見、戻られて気づかれたご意見もあろうかと思う。どのような形でも構わないので、ご意見をいただきたい。</p>

8 その他

今後、ご意見・ご提案等があれば、様式を配布しているので、FAX・メール等で事務局へ提出願いたい。皆様方のご意見等については、今後の男女共同参画の推進の参考にさせていただく。

9 閉会